

お客様から業務継続の信頼を獲得！



CLUSTERPRO X SingleServerSafe for Windows/Linux

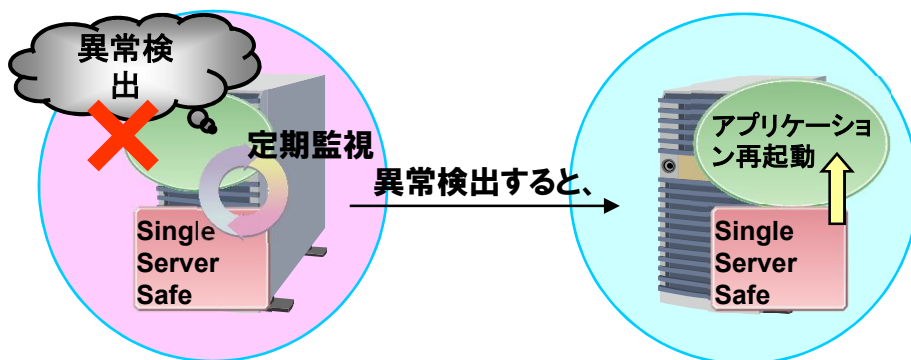
「くらら&ぶろろ」

障害から業務を守る

①ソフトウェア障害の自動回避

耐障害性の向上

アプリケーション異常、OSハングアップを検出し、自動でアプリケーション再起動やOS再起動を行う。OSのイベントログ出力に頼らず直接状態を検出するため、業務停止の回避能力に優れているのが特長。



異常検出の範囲はCLUSTERPRO Xと同じ

業務ができる状態なのかどうかという観点で、HWを監視する。また、CLUSTERPRO X の監視Agentがそのまま使えるので、アプリケーションの死活監視だけでなく、レスポンス監視も可能。

耐障害のカバーレンジが広くて、安心！

監視モデルの併用

ソフトウェア

OS

RAID、NIC
冗長化など

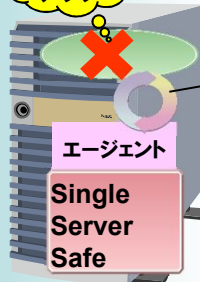
ハードウェア

X SingleServerSafe

障害発生率はソフトウェアが高いため、効果大

汎サーバと組み合わせると、より可用性が高いシステムが提案できる

ハングアップ



エージェントが定期的に対象のアプリケーションにリクエストを投げ、応答時間や応答内容をチェックし異常を監視

- データベース
- インターネットサーバ
- ファイルサーバ
- APサーバ に対応

プラス10万円/1CPUから、全てのサーバの可用性を向上させる。

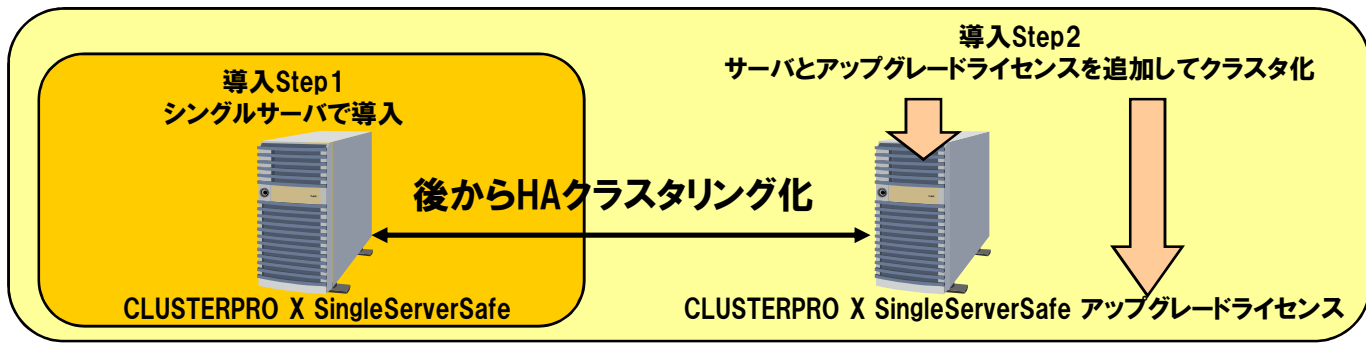
デュアルコア・クアッドコアのコア数はカウントしないのでコストパフォーマンスがよい！

お客様にシステムアップを継続提案できる

② クラスタ構成に発展

グレードアップパスを用意

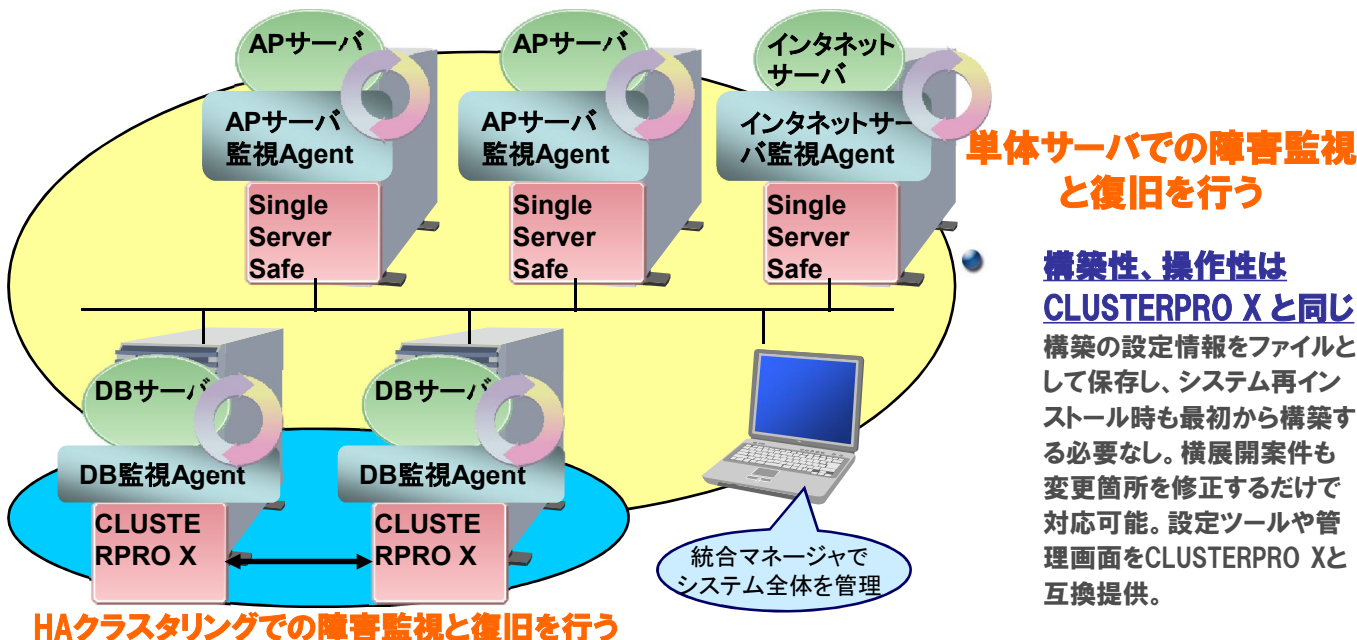
最初からクラスタ構成を組んだ場合と等しい差額ライセンスと、サーバを1台購入することにより、クラスタにアップグレード可能。買い直しの必要がありません。



③ システム全体で可用性を高める

全てのサーバへCLUSTERPRO X シリーズを導入

基幹となるDBサーバはHAクラスタ化し、Web3階層システムで単体サーバとしてよく使われるAPサーバやインターネットサーバの可用性を監視Agentで高めることができる。



柔軟な構成が組める！

日本電気株式会社 クラウドプラットフォーム事業部

CLUSTERPRO グループ

E-mail: info@clusterpro.jp.nec.com

2015年4月

★このカタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承下さい。